

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 26

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hrcr@at.wakwak.com



会長 佐藤 三千秋
会長エレクト 百 濟 洋 一
副会長 和田栗 一 良
幹事 大 畑 齊
会報委員長 宮 崎 康 治

MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D. K. リー

第1715回例会 平成21年2月23日(月曜日) 第26号

本日の例会

2月23日(月) 第4例会

- ◎ソング 「四つのテスト」
- ◎卓話 「海にまつわる怖い話」
(担当:金子 勝信会員)
- ◎本日の献立 お造り定食

次回の例会

3月2日(月) 第1例会

- ◎卓話 「情報」
(担当:松浦 永郁会員)
- ◎本日の献立 軽食

先週の例会記録

2月16日(月) 第3例会

- ◎ビジター 八尾中央RC 林 明雄氏

会長挨拶

会長 佐藤三千秋

2月はロータリー誕生月であります。皆さんよくご存知だと思いますが、あらためて話しをさせていただきます。

当時、不況で荒れすさんでいたシカゴで、暖かい人間関係を求めていた青年弁護士ポール・ハリスが3人の仲間と共に、最初の会合を持ったのが1905年2月23日でした。次回例会の日がちょうどその日で、104年前のことです。この4人が互いの事務所で「輪番」に会合を開き、当初の目的は親睦と相互扶助でした。この4人のグループ名

称を「ロータリー」とし、会員を「ロータリアン」と呼びました。これがロータリーの誕生であり、その後新しいメンバーが加わり、最初にシカゴ・ロータリークラブが組織されました。多忙な職業人が毎週集まるための目的として、親睦と相互扶助だけではなく、職業奉仕と、恵まれない人々への援助が加えられたということです。

当、東大阪中央ロータリークラブも今週2月20日金曜日には創立37周年を迎えます。特に今年は何の趣向も考えていませんが、104年前にロータリーが誕生した時の「ポール・ハリスの志しと四大奉仕の理想」が、シカゴのLocalな街から、世界理解と平和を目指す国際的な活動へと拡がり、当クラブの誕生にも繋がったことを思い浮かべていただけたらと思います。ちなみに2月は「世界理解月間」です。

幹事報告

幹事 三木武志

1. 地区広報委員会より「広報ご案内チラシ」ポストに配布しております。四月から、ラジオ大阪で「2660地区のロータリー活動についての10分のラジオ番組」を放送する予定です。
2. 例会変更のお知らせを掲示しております。

出席報告

岡田委員

本日の会員数

43名

本日の出席者数 30名
本日の出席規定適用免除会員 15名
本日の出席率 81.08%
2月2日の修正出席率 86.84%

SAAニコニコ箱 松浦副SAA
鈴木会員 例会欠席のお詫び。

委員会報告

雑誌広報委員会 委員長 坪倉修吉

雑誌広報の坪倉でございます。2月6日付で、ガバナー横山守雄様・地区広報委員長、木村芳樹様より連名で通達が参っております。

読み上げますと、

今年度、地区広報委員会では、国際ロータリーの広報補助金を元に、地区広報活動を展開するとの事で、2月25日から3か月間に亘り「ロータリー2660地区の胎動」と題した新聞記事が毎週日曜日、産経新聞に連載で掲載される事となりました。

テーマは「外から見たロータリー」です。産経新聞社に依頼作成した同封のチラシをクラブ全員の皆様にあまねくお配り頂き、2660地区の広報活動を周知して貰うようお願い計らい下さい。との事であります。

チラシは既にポストに配布して頂きました。皆様のお手元にあると存じます。又、4月から、ラジオ大阪で「2660地区のロータリー活動について」の10分間のラジオ番組を、同じく3か月に月間に亘り放送する予定であるとの事、この件も合わせて皆様ご案内申し上げておくようにとの通達でありました。以上でございます。

世界社会奉仕委員会 委員長 瀧田浩彦

世界社会奉仕(WCS)の今年度のプロジェクトの1つは国際飢餓対策機構フィリピンによる養豚プロジェクトで、既に第一回目の報告書が届いておりますが、2つ目のプロジェクトを湯谷会員と相談して、ミャンマーでということに決めました。つきましては、来週2月23日の例会に、以前卓話を頂いた“海を越える看護団”の代表の方がお見えになります。例会の場でプロジェクト費用を会長より渡して頂きますが、例会前12時より看護団の代表の方の現地の説明会を、横の談話室で行う予定です。時間のおありの方は12時前に御参集下さい。そこで現地のどの施設をターゲットにするかを決定して、その看護団に依頼して援助を

行ないたいと思います。

卓話

「ボタン・釦について」

小川 高弘会員

皆様が日ごろ何気なしに使用されている洋服のボタンですが、ボタンの語源は何処から来ていると思われますでしょうか？

英語でもボタンと発音します。洋服のボタンの他に、道具のつまみ、花のつぼみ、芽などの意味もあります。そこでボタンの形を思い浮かべると、花のつぼみから連想された言葉というのは大いに納得されると思います。

ボタンの起源ですが、最古のボタンはエジプトで発掘された紀元前4000年のものが最古のものと言われており、これらは古代エジプトの護符で、太陽神ケペラを象徴するコガネムシの一種を模倣した「スカラベ」や花の形をしたものがあります。当時のボタンはボタンの形をしていますが衣服を留めるものではなく、権威を表す装飾品、印章、バッジとして用いられたものだろうと考えられています。その後、ヨーロッパ未開発時代の古代ゲルマン民族は北方地域に移住し、寒さから身を守るために体に布や毛布を巻きつけるようになり、その留め具として動物の骨や角、貝、木の実、植物のとげなどを使用したことが、ボタンの起源とされています。そのようなことから、皆様が日ごろ着ておられるダッフルコートやボタンの形はホーンボタンと呼ばれ鹿の角で出来ていて、古代の名残が残っていると考えられています。

では日本でのボタンの歴史ですが、幕末から明治初期の洋服伝来によって、日本のボタンも様々な変遷を経て今日に至っています。

明治以前では、桃山時代の武士が南蛮渡来のボタン付き服を着た例があり、元禄時代に陣羽織に貝ボタンが使われた記録が残っていますがおそらくそれが日本のボタンの始まりだと思われます。

幕末の頃には、幕府の雇員が徳川家の紋章を入れた金属ボタンを使用していたとか、戊辰戦争で島津藩の藩兵が軍服に付けていたなどの記録がありますが、これらのボタンはフランス製の輸入品だったと思われます。

その後、薩摩藩では陶器製の美しい「薩摩ボタン」を製造していました。この「薩摩ボタン」は高級な薩摩焼の自薩摩で出来ていて、これらは国外に輸出され戊辰戦争の軍資金の一部にされた

いわれています。

この時代には「薩摩ボタン」の他に「有田焼ボタン」などが製造されています。このころ海外では、イギリスのウェッジウッド社によってコバルトブルーのガラス質の磁器ボタンが製造されています。

わが国のボタン産業の始まりは明治時代で、実はここ大阪がはじまりで、中村儀助という足袋のコハゼ屋さんがボタンの販売をしたのが始まりと言われています。

明治十五年にはここ大阪で小さなボタン工場を始めた人がいます。この頃がボタン製造業の始まりといわれています。この頃の素材は、貝、水牛の角、馬蹄、牛骨、金属でした。明治三十四年頃には、和歌山県田辺地方の農家が家内工業として、貝ボタンの生産を始めます。大正の末期から昭和の初めにかけて、田辺の貝ボタン工場は数十軒となり、地場産業として栄えていました。現在においても貝ボタンの生産地ですが、昭和二十九年頃から貝ボタンに代わるものとして、ポリエステルボタンの製造技術が開発されたため、現在では貝ボタンの生産は一部の兼業者を除き、ほとんどなくなっています。現在の貝ボタンの生産は奈良、大阪南部などわずかに行われているだけです。

次にボタンの素材についてお話しします。現在ボタンの素材として使われているものは、天然素材・金属素材・プラスチック素材・その他の素材があります。

まず天然素材ですが先程から話していますように、貝類で、高瀬貝・白蝶貝・黒蝶貝・サザエ・メキシコアワビなどがあります。これらは貝殻をボタンの大きさにくり貫き、貝殻の内側を使用します。貝殻独特のパール調の模様が出て非常に綺麗です。皆様が普段着られているワイシャツやカーディガンなどのボタンは高瀬貝から作られています。角ボタンは、水牛・鹿などの角からできていて、ダッフルコートやコートなどに使われています。皮ボタンは、牛・馬・山羊・豚などの革からできていて、トレンチコートやジャケットなどに使われています。ナットボタンは郷子の実をくり貫いて使用します。スーツ用ボタンとして使われています。あと竹ボタンや柘植や樺を用いた木ボタンなどがあります。次に金属素材ですが、真鍮ボタンは、皆様が学生の頃着ておられた学生服や警察・消防・自衛隊などの制服に使われているかぶせボタンです。

以前、紺ブレ・紺のブレザーが流行った頃は製造が追いつかず、高値で売買されていました。各アパレルは真鍮ボタンの確保に躍りになっていました。その他には、メタルキャストボタン・亜鉛ダイキャストボタン・アルミニウムボタンなどがあります。余談ですが、オリンピック開催の年は金属ボタンが流行るとされてきましたが、去年の北京オリンピックにはその兆候は微塵もありませんでした。

次にプラスチック素材ですが、カゼインボタン・ナイロンボタン・アクリルボタン・ポリエステルボタン・ユリアボタンなどがあります。

カゼインボタンは人や牛・羊の牛乳にあるカゼインというタンパク質からできています。そのためわが国では、カゼイン樹脂の大部分はニュージーランドなど酪農が盛んな国からの輸入に依存しています。

ポリエステルボタンは、貝や角の天然素材の代わりに人工的に柄や色合いを似せて作られることが多いボタンです。天然素材は柄や色合いが均一に出来ませんが、ポリエステルボタンは同一規格のものを作ることができ、コストも抑えられますので、製品コストが合わない時や同一規格が必要な場合の洋服に使われます。

その他の素材ですが、編み紐ボタンは、シルク紐やレース紐などをプラスチック土台のボタンに巻きつけたボタンです。特にタキシードなどのブラックフォーマルに効果的に使われます。

くるみボタンは、服地の共布を利用したボタンで、共布を使用するため、洋服と違和感がなく、高級に見えるのが特長です。

コックボタンは、綿の組紐をげんこつ状の球状に編んだボタンのことをいい、コック用の白衣に使用されます。ボタンの留め方は通常と同じで、コックボタンをボタンホールに通し留めます。このコックボタンは非常に良く考えられていて、コックの白衣が万が一調理中に燃えてしまった場合、いちいちボタンを外していると焼けどを負いますが、コックボタンを使用することにより、引っ張るだけでボタンがボタンホールから簡単に抜け、すばやく脱ぐことができる機能的なボタンです。他にもコックの白衣は煮沸洗浄をしますので、耐久性にも優れた綿の組紐だけで編むものです。皆様も是非、行き付けの料理店のコックさんに見せてもらってください。実はコックさんもこの機能を知らない方が多いようです。